

福祉サービス第三者評価結果（総評）

① 第三者評価機関名

社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

② 事業者情報

名称：南海学園	種別：障害者児者総合福祉施設
代表者氏名：施設長 宇井 みちえ	定員（利用人数）： 障害者 60 名 障害児 10 名
所在地：南国市大桶乙 2288	TEL 088-864-2221

③ 総評

◇特に評価の高い点

- 法人の理念、基本方針が明示され、職員への浸透に努めている。また、サービス提供にあたっては、標準的な実施方法等を明記した各種マニュアルも整備し、日々の利用者支援にあっている。
- 障害の特性に合わせ4つのグループに分けての日中活動を導入しており、プログラムも充実してきている。
- 保護者とのコミュニケーションを図り、利用者サービスにつなげるため、月1回保護者会を開催しているほか、モニタリングの際にも保護者の意向を積極的に聴き、サービスに活かしている。
- 職員育成のため、人事考課制度を運用し、管理職と職員との個別面接も機能している。当該施設での経験年数が少ない職員が多いが、利用者の自立支援に積極的に取り組み、自らの専門性向上へも意欲的である。
- 引き継ぎの体制に工夫するとともに、パソコンネットワークシステムも導入し、情報共有に努め、チームとして利用者支援を向上させる仕組みづくりにも取り組んでいる。

◇改善を求められる点

- 中長期計画が策定され、今後の方向性や課題が示されているが、具体的な期間や数値目標がないため、年度ごとの事業計画へ反映できにくい状態になっている。また、年度ごとの具体的な目標や利用者支援方法等について、明確にしていくことが期待される。
- 障害が重度であり、自ら意向を表すことが困難な利用者も多い施設である。保護者からの意向を聴くことと合わせて、利用者の意向を汲み上げ、適切にアセスメントするため、職員の専門性の向上とアセスメントシートの見直し等に努め、真のニーズに応じたサービスの質をさらに高めることが期待される。
- 職員の意欲が高い施設であるので、職員一人一人の特性や課題等をアセスメントしたうえで、個別の教育・研修計画を策定し、職員育成に取り組んでいくことが期待される。
- 今回2回目の第三者評価の受審である。自己評価を毎年行うとともに、第三者評価も含めた評価結果を施設運営、サービス提供の見直し、改善につなげる仕組みづくりを構築することが期待される。

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

第三者評価を受けることが私ども施設にとって普段行っているサービスについて自ら振り返ることができ、大変意義のあることだと再認識しました。評価調査者の丁寧な審査により今回の評価で課題にあがった点について、一つひとつ対処していきたいと考えています。より具体的な期間や目標・利用者支援方法等を明確にしていき、中長期計画を年度事業計画に反映していけるようにします。利用者の意向、真のニーズを把握するためのアセスメントを見直し、サービスの質を高めていきます。職員一人一人の特性や課題等をアセスメントしたうえで、職員の専門性を向上させていくために個別の教育・研修計画を策定し、職員育成に取り組んでいきます。

今回2回目の受審でしたが、初回の受審時の評価を生かすことができていなかったことが残念です。今回改めて自己評価をし、第三者の評価を受ける過程において、私ども施設の職員の自覚と改善意欲を向上することができ、施設の課題を皆で共有することができました。今後は自己評価を毎年継続して行い、施設運営、サービス提供の見直し、改善につなげていきたいと考えています。

⑤評価細目の第三者評価結果（別添）